

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	文化論	授業形態	講義	年次	2	使用教科書 教材等	公益社団法人日本理容美容教育センター 文化論
学科	美容科	必修選択	必修	総時間 (1単位)	60 (2)	担当教員	杉田 忠
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか記載							
養成施設教員実務経験10年以上。中学校美術教員免許取得。 美容師として芸術的な表現力と鑑賞力を養う授業を行います。							
到達目標							
・美容文化の歴史及び沿革について理解する。・我が国における美容ファッションの変遷について理解する。 ・海外における美容ファッションの変遷について理解する。 ・流行を追う心理、流行が社会に及ぼす影響、流行が美容業において占める意義と役割についての理解。							
回	授業概要						テスト配分
1	・序論 ・導入 文化論について ・ルネッサンス「モナリザ」・「春」を通して当時のファッションを見る						1年次 1学期 中間テスト
2	・ファッション文化史（日本編） ・古代のファッション（縄文～弥生） ・髪型 ・髪飾りと装身具 ・化粧 ・服装						
3	・ファッション文化史（日本編） ・古代のファッション（弥生～古墳時代） ・髪型 ・髪飾りと装身具 ・化粧 ・服装						
4	・ファッション文化史（日本編） ・古代（飛鳥・奈良・平安時代前期） ・飛鳥時代 聖徳太子 17条の憲法→衣装＝階級						
5	・ファッション文化史（日本編） ・飛鳥時代 法隆寺に見る大陸文化 エンタシス アルカイックスマイル 仏像の衣装（救世観音等）						
6	・ファッション文化史（日本編） ・飛鳥時代 ・髪飾りと装身具 ・正倉院 鳥毛立女屏風 ・化粧 白粉と紅の使用 眉の美意識「万葉集」						
7	・ファッション文化史（日本編） ・中世のファッション文化史（平安前期） ・貴族の生活						1年次 1学期 期末テスト
8	・ファッション文化史（日本編） ・中世のファッション文化史（平安後期） ・平安美人と髪の色 黒い髪 長い髪への美意識 ・烏帽子と垂髪 ・髪飾り ・化粧（眉落とし、お歯黒など）						
9	・ファッション文化史（日本編） ・平安後期の美術（国風文化） 「源氏物語」「枕草子」 寝殿造（平等院鳳凰堂）						
10	・ファッション文化史（日本編） ・近世のファッション文化史（鎌倉・南北朝・室町・安土桃 山） ・武士の登場 ・活動的（質素）な服装 髪型へ						
11	・ファッション文化史（日本編） ・鎌倉時代の美術 ・東大寺南大門金剛力士像（運慶・快慶） ・似絵						1年次 2学期 中間テスト
12	・ファッション文化史（日本編） ・南北朝・室町時代の美術 ・金閣寺・銀閣寺（書院造） ・枯山水 ・水墨画（雪舟） ・能（芸能）→髪型に影響						
13	・ファッション文化史（日本編） ・江戸時代 ・髪型（前期～後期） ・髪型の基本部分とその変 化						
14	・ファッション文化史（日本編） ・江戸時代 ・髪飾りと化粧 櫛の多様化 ・際化粧と襟化粧 ・笹色紅 ・爪紅（マニキュア） ・天井眉						
15	・ファッション文化史（日本編） ・江戸時代 ・服装（男性・女性）特に女性の小袖の文様・柄						
16	・ファッション文化史（日本編） ・江戸時代の美術① ・俵屋宗達「風神・雷神」 ・浮世絵 ・桂離宮 ・日光東照宮						

17	・ファッション文化史（日本編）	・江戸時代の美術②	・俵屋宗達「風神・雷神」 ・桂離宮	・浮世絵 ・日光東照宮	1 年次 2 学期 期末テスト
18	・ファッション文化史（日本編）	・江戸時代の美術③	・浮世絵	喜多川歌麿 葛飾北斎	
19	・ファッション文化史（日本編）	・江戸時代の美術④	・浮世絵	歌川広重 東洲斎写楽	
20	・ファッション文化史（日本編）	・江戸時代の美術⑤	・浮世絵	・「富嶽三十六景」 ・「東海道五十三次」	
21	・ファッション文化史（日本編）	・江戸時代の美術⑥	・浮世絵と印象派（ゴッホと浮世絵）		
22	・ファッション文化史（日本編）	・江戸時代の美術⑦	・ジャポニズム文化		
23	・ファッション文化史（日本編）	・近代のファッション	明治・大正・昭和初期	概要	1 年次 3 学期 学年末テスト
24	・ファッション文化史（日本編）	・明治時代の時代背景 西洋化の流れ（明治維新・富国強兵・鹿鳴館）			
25	・ファッション文化史（日本編）	・日清・日露戦争と日本 ・軍国化	・日本文化の排斥～再確認まで 髪型「二百三高地」・君死に給う事なかれ		
26	・ファッション文化史（日本編）	・明治の美術	横山大観 青木繁 高橋由一 浅井忠 高村光太郎（含むロダン） 荻原守衛		
27	・ファッション文化史（日本編）	・大正～昭和初期	・モダンボーイ・モダンガール ・女性の職業の多様化 制服の発達		
28	・ファッション文化史（日本編）	・大正～昭和初期	大正時代の美術①	岸田劉生	
29	・ファッション文化史（日本編）	・大正～昭和初期	大正時代の美術② アールヌーボー（ジャポニズム文化の逆輸入）アールデコ		
30	・ファッション文化史（日本編）	・大正～昭和初期	大正時代の美術③ ティファニー ガウディ シャネル ミュッシャ クリム		
【評価について】					【特記事項】
A評価（100～86）/ B評価（85～70） C評価（69～45）/ D評価（44～0） 各学期に中間・期末テストを行い平均点が70点以上あること ※ない場合は追試を行う					
					進級及び卒業は、単位時間数と定期テストでの平均点取得、教員による協議会の決定による

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	保健	授業形態	講義	年次	1	使用教科書 教材等	公益社団法人日本理容美容教育センター 美容保健
学科	美容科	必修選択	必修	総時間 (1単位)	60 (2)	担当教員	七原 久恵
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか記載							
実務経験20年以上、美容師として人間の髪・皮膚の構造等について学んでもらう授業を実施しています							
到達目標							
・美容技術の基礎となる人体についての知識を習得すること ・美容の業務を安全かつ効果的に行えるよう正確な知識を理解すること							
回	授業概要						テスト配分
1	第1編1章：人体の構造及び機能 ・人体各部の名称 ・目、耳その周辺 等						中間テスト (穴埋め問題)
2	第1編1章：人体の構造及び機能 ・目、耳、鼻その周辺の名称、機能 等						
3	第1編1章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
4	第1編2章：骨格器系 ・骨の種類と構造 ・骨の連結						
5	第1編2章：骨格器系 ・骨格器系とはたらき ・頭蓋、脊柱、胸郭 等						
6	第1編2章：骨格器系 ・脊柱 ・胸郭 ・上肢骨下肢骨 ・手掌と足の骨						
7	第1編2章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
8	第1編3章：筋系 ・筋の種類と特徴						
9	第1編3章：筋系 ・主な骨格筋とそのはたらき						
10	第1編3章：筋系 ・表情筋と表情運動						
11	第1編3章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
12	中間テストまとめ ・ワークブック ・過去問題						
13	第1編4章：神経系 ・神経系の成り立ち ・中枢神経のはたらき (脳・脊髄)						期末テスト (穴埋め問題)
14	第1編4章：神経系 ・神経系の成り立ち ・末梢神経のはたらき (体性神経・自律神経)						
15	第1編4章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
16	第1編5章：感覚器系 ・視覚 ・聴覚						
17	第1編5章：感覚器系 ・平衡感覚 ・味覚 ・嗅覚 ・皮膚感覚						
18	第1編5章まとめ ・ワークブック ・過去問題						

19	第1編6章：血液と免疫系 ・血液のあらまし	2学期中間テストに 含む（穴埋め問題）
20	第1編6章：血液と免疫系 ・免疫のあらまし ・アレルギー	
21	第1編6章まとめ ・ワークブック ・過去問題	
22	期末テストまとめ ・ワークブック ・過去問題	
23	第1編7章：循環器系 ・心臓のあらまし ・心臓と血管のはたらき	
24	第1編7章：循環器系 ・血液循環の仕組み ・血液の循環経路（大循環・小循環・リンパ管）	
25	第1編7章まとめ ・ワークブック ・過去問題	
26	第1編8章：呼吸器系 ・呼吸器系のあらまし ・気道（鼻腔・咽頭・喉頭・気管と気管支）	
27	第1編8章：呼吸器系 ・肺の仕組みとガス交換 ・呼吸運動	
28	第1編8章まとめ ・ワークブック ・過去問題	
29	第1編9章：消化器系 ・消化器系のあらまし ・消化管の仕組み（口腔・唾液腺・食道・胃・腸・肝臓と膵臓）	
30	第1編9章：消化器系 ・消化器系のあらまし ・消化管の仕組み（口腔・唾液腺・食道・胃・腸・肝臓と膵臓）	
【評価について】 A評価（100～86）/B評価（85～70） C評価（69～45）/D評価（44～0） 各学期に中間・期末テストを行い平均点が70点以上あること ※ない場合は追試を行う		【特記事項】 進級及び卒業は、単位時間数と定期テストでの平均点取得、教員による協議会の決定による

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論①②	授業形態	講義	年次	1	使用教科書 教材等	公益社団法人日本理容美容教育センター 美容技術理論①②
学科	美容科	必修選択	必修	総時間 (1単位)	90 (3)	担当教員	七原 久恵
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか記載							
実務経験20年以上、美容器具の種類や目的を理解し、実務に沿った知識を学んでもらう授業を実施しています							
到達目標							
・美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を身に付けてもらうこと ・美容器具の正しい取り扱いや基礎技術を習得すること ・美容器具による危害を防止するための注意を理解すること							
回	授業概要						テスト配分
1	序章：美容議論を学ぶにあたって ・美容とは何か ・美容技術における作業姿勢 ・人体各部の名称						中間テスト範囲 (穴埋め問題)
2	1章：美容用具 ・コーム ・ブラシ ・シザーズ ・レザー ・ヘアアイロンドライヤー 等						
3	1章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
4	2章：シャンプーイング ・シャンプーの目的 ・シャンプー剤の成分、種類						
5	2章：シャンプーイング ・リンスとコンディショナーの役割、成分						
6	2章：シャンプーイング ・スカルプトリートメント ・スカルプマッサージ						
7	2章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
8	8章 エステティック ・エステティック概要						
9	8章 エステティック ・皮膚の生理と構造						
10	8章 エステティック ・マッサージ理論						
11	8章 エステティック ・フェイシャルケア技術 ・フェイシャルパック						
12	8章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
13	中間範囲まとめ ・ワークブック ・過去問題						
14	3章：ヘアデザイン ・錯覚現象						
15	3章：ヘアデザイン ・デザインの要素、原理						
16	3章まとめ ・ワークブック ・過去問題						
17	4章：ヘアカッティング ・シザーズとレザーの使い方 ・美容刃物の材質等 ・正しい姿勢						

18	4章：ヘアカッティング ・基礎理論	期末テスト問題 (穴埋め問題)
19	4章：ヘアカッティング ・ベーシックなカット技法	
20	4章：ヘアカッティング ・シザーズによるカット技法	
21	4章：ヘアカッティング ・レザーによるカット技法	
22	4章まとめ ・ワークブック ・過去問題	
23	5章：パーマネントウェービング ・毛髪の構造	
24	6章：パーマネントウェービング ・ウェーブ形成の仕組み	
25	5章：パーマネントウェービング ・パーマ剤の分類、種類 ・パーマ剤に関する注意事項	
26	5章：パーマネントウェービング パーマネントウェービング技術 ・毛髪診断 ・シャンプー ・ロッドの選定 ・ブロッキング ・プレ処理 等	
27	5章：パーマネントウェービング パーマネントウェービング技術 ・1剤2剤塗布 ・放置タイム ・テストカール ・中間リンス ・ウェーブチェック 等	
28	5章：パーマネントウェービング ・ワインディングのバリエーション ・縮毛矯正	
29	5章まとめ ・ワークブック ・過去問題	
30	期末テストまとめ ・ワークブック ・過去問題	
【評価について】 A評価（100～86）/ B評価（85～70） C評価（69～45）/ D評価（44～0） 各学期に中間・期末テストを行い平均点が70点以上あること ※ない場合は追試を行う		【特記事項】 進級及び卒業は、単位時間数と定期テストでの平均点取得、教員による協議会の決定による

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習	授業形態	実習	年次	1	使用教科書 教材等	公益社団法人日本理容美容教育センター 美容師実技試験課題「技術の解説」
学科	美容科	必修選択	必修	総時間 (1単位)	450 (15)	担当教員	川崎 裕貴
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか記載							
美容師免許取得後実務経験4年以上、美容師として必要な知識・技能等を学んでもらえるような授業を実施しています							
到達目標							
・基本的操作を確実に身に付けさせること ・総合的な技術の基礎を身に付けさせること ・衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒等の適切な実施方法を身に付けさせること							
回	授業概要						テスト配分
1～3	美容道具等の説明 ・美容道具の名称、使い方 ・各実習種目に必要な物の説明 等						ワインディング全頭 40分
4～7	美容国家試験（ワインディング） ・コームの使い方 ・ブロッキング（12ブロック） ・上巻き下巻きの巻き方のデモンストレーション→実際に巻く						
8～11	美容国家試験（ワインディング） ・前回の復習 ・センターのデモンストレーション→実際に巻く						
12～14	美容国家試験（ワインディング） ・フロントの巻き方のデモンストレーション→実際に巻く						
15～17	美容国家試験（ワインディング） ・ブロッキング、センター、フロントの復習						
18～21	美容国家試験（ワインディング） ・バックサイド、サイドの巻き方のデモンストレーション→実際に巻く						
22～24	美容国家試験（ワインディング） ・全頭巻いて教員チェックを受ける ・教員からのチェックで指摘を受けた部分をやり直する						
25～27	美容国家試験（ワインディング） ・1頭どのくらいの時間で巻けるのか測る ・教員からのチェックで指摘を受けた部分をやり直する						
28～30	美容国家試験（ワインディング） ・模擬試験の実施、反省						

【評価について】

A評価（100～86）/ B評価（85～70）

C評価（69～45）/ D評価（44～0）

各学期に中間・期末テストを行い平均点が70点以上あること

※ない場合は追試を行う

【特記事項】

進級及び卒業は、単位時間数と定期テストでの平均点取得、教員による協議会の決定による

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理	授業形態	講義	年次	1	使用教科書 教材等	公益社団法人日本理容美容教育センター 衛生管理
学科	美容科	必修選択	必修	総時間 (3単位)	90 (3)	担当教員	杉田 忠
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか記載							
養成施設教員実務経験10年以上。美容師が公衆衛生の維持と増進についての十分な理解を理解できる授業を行います。							
到達目標							
・公衆衛生の意義と本質とを明らかにする。 ・美容師が公衆衛生の維持と増進について十分に理解する。 ・環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら理解する。							
回	授業概要						テスト配分
1	第1編 1/2 1章 公衆衛生 第1節 公衆衛生の意義と課題						1学期 中間テスト
2	第1編 2/2 1章 公衆衛生 第1節 公衆衛生の意義と課題						
3	第1編 1章 第2節 公衆衛生発達の歴史 1 欧米の公衆衛生の歩み						
4	第1編 1章 第2節 公衆衛生発達の歴史 2 我が国の公衆衛生の歩み						
5	第1編 1章 第2節 公衆衛生発達の歴史 3 消毒法の歴史						
6	第1編 1章 第3節 理容師・美容師の公衆衛生 1 歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生						
7	第1編 1章 第3節 理容師・美容師の公衆衛生 2 公衆衛生と理容師・美容師						
8	第1編 1章 第4節 美容所と理容業・美容業						
9	第1編 2章 第1節 1 母子保健						
10	第1編 2章 第1節 2 成人・高齢者保健						
11	第1編 2章 第1節 3 精神保健						
12	第2編 1章 第1節 1 環境衛生の内容						
13	第2編 1章 第1節 2 環境衛生の目的と意義						
14	第2編 1章 第1節 3 環境衛生活動						
15	第2編 1章 第2節 1 空気と健康						

16	第2編 1章 第2節 2温度、湿度、空気（風）と健康	1学期 期末テスト
17	第2編 1章 第3節 1衣服の衛生	
18	第2編 1章 第3節 2住居の衛生	
19	第2編 1章 第4節 1上水道	
20	第2編 1章 第4節 2下水道	
21	第2編 1章 第4節 3廃棄物	
22	第2編 1章 第5節 1衛生害虫	
23	第2編 1章 第5節 2ネズミ	
24	第2編 1章 第6節 1水質汚濁	
25	第3編 1章 第1節 1感染症発見の歴史	
26	第3編 1章 第1節 2感染症と法律 ・ 3感染症の分類	2学期 中間テスト
27	第3編 1章 第2節 1微生物の種類	
28	第3編 1章 第2節 2微生物の形と大きさ	
29	第3編 1章 第2節 3微生物の構造	
30	第3編 1章 第2節 4微生物の増殖と環境の影響	
【評価について】 A評価（100～86）/B評価（85～70） C評価（69～45）/D評価（44～0） 各学期に中間・期末テストを行い平均点が70点以上あること ※ない場合は追試を行う		【特記事項】 進級及び卒業は、単位時間数と定期テストでの平均点取得、教員による協議会の決定による